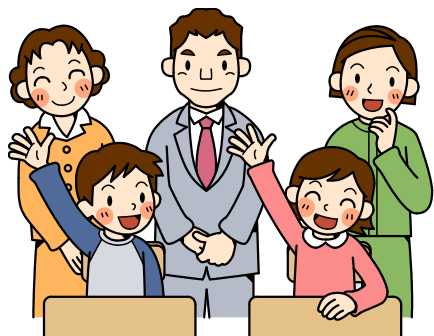


校長だより3号

発行月日:平成29年6月13日(火)
うるま市立伊波小学校 石嶺 聡

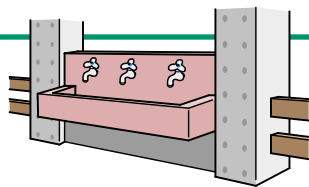


学校経営の基本方針の一つに「開かれた学校づくり」があります。校長だより3号では、この件について説明していきます。

一つの約束



保護者・地域住民に対して



校長として、情報公開に努めることを約束します。地域の中にある教育施設(学校)において、門の中で何が起きているのかを知らずして、地域に開かれた学校であるとは言い切れません。授業参観日や学校行事(入学式、音楽発表会、運動会、卒業式)等では校内外に公開いたします。

情報公開の最たるものとして、学校だよりや学年だより等があります。これらは、今、学校で行っていることを知らせる絶好の情報伝達手段です。私は校長の話として、本校の現状とこれからの針路を書き続けていきたいと考えています。

情報公開は地域とのギブアンドテイクにもつながります。内部情報を知らせること、学校理解に繋げ、多くの協力者を得たいと考えています。

学校評価(PDCAによるマネジメントサイクル)の捉えについて

1学期の7月には、1回目の学校評価を全教職員、全児童生徒、全保護者・地域住民を対象に調査を行い、分析・考察(A)をして中間評価とします。それを受けて2学期からは、改善してみたものの効果が出ない策は元に戻すか、新たな策を講じるか確認して進めていきます。

12月には同じ設問で2回目の調査を行い、3月までにその経過把握と比較を行い、さらに改善策を加え、次の4月の新年度を迎えるというマネジメントサイクルを構成していきます。

そして、全教職員、全児童生徒、全保護者・地域住民による年度末の内部評価を学校評議員や学校関係者評価委員等に評価・考察していただきます。内部評価の水準点が甘いのか妥当なのかを客観的に評価していただき、これを外部評価として捉えます。(学校評価に関する用語チェックより)